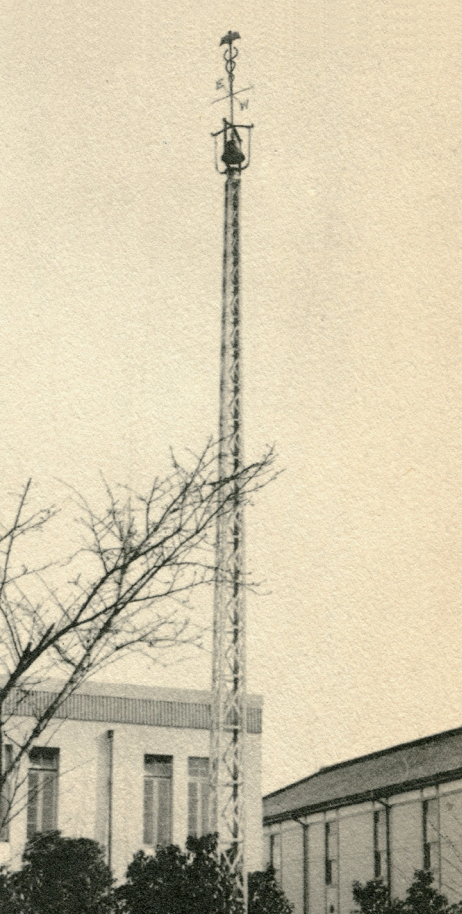


経済学へのアプローチ^{PLUS}

名古屋大学大学院経済学研究科案内 2023



APPROACH^{PLUS}
GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS



理論 × 実践 × 倫理

経済学・経営学の特徴はその総合性にあります。経済学・経営学は、第一義的にはサイエンスであり、経済社会を対象とするディシプリンとして、普遍的に成立する抽象的な理論やモデルを志向します。そのために、先行研究を踏まえて自身の仮説を提示し、資料やデータを集めて仮説の成否を検証するという手続きが繰り返されます。他方で、経済学・経営学は実学でもあります。われわれは家計、企業、政府、その他あらゆる経済主体の提起する課題に対し、適切な解答を用意しなければなりません。そこで求められるものは、科学的に確証され普遍的に成立する理論に留まらず、日本であれ、アジアであれ、当該個別社会において観察される一般的知見や経験であるかもしれません。さらに、人々

の厚生の上、経済社会的正義の実現を目指す過程においては、人文的叡智に裏付けられた倫理的価値判断も避けられません。

経済学・経営学において、これらの要素の結びつきは不可分です。他の社会科学分野でも、同じような理論・実践・倫理の三要素の交絡はあるでしょう。しかし、経済学・経営学ほどの緊張関係にはないと思われます。近年は専門分化が進み、ともすれば視野狭窄に陥りがちですが、私たちは、この経済学・経営学に固有の不可分性・総合性を常に意識して、研究と教育を進めています。

「創統の鐘」の由来

「創統の鐘」は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校の第一回卒業生によって寄贈された其湛塔の塔頂にあつて、二十有余年に亘り授業の開始と終了を告げた時鐘であります。

その妙音は近隣の市民にも愛されましたが、太平洋戦争の深刻化とともに、塔は取り壊され鉄材として供出されました。幸い「創統の鐘」は難を逃れ、名古屋大学経済学部に継承され、今日に至っております。

鐘銘は初代校長渡辺龍聖氏の撰になるもので、出典は孟子・二巻の「君子創業垂統、為可繼也」君子は業を創め統を垂れ、継ぐべきことを為さんのみ（君子はのちに発展する事業の基礎を築き、その事業を子孫に伝えるようにすればよい）にあります。先人の志を後輩が受け継いで発展させる、この「創統の精神」が鐘の音とともに永遠に本学に伝えられることを祈念いたします。



双方向の対話を通じて鍛える

問う力・考える力・説明する力

大学院における学修は、講義科目を履修して単位を取得する、あるいは、本や論文を読んだたくさんの知識を身につけることが中心ではありません。むしろ、指導教員との双方向の対話を通じて、研究テーマについて考え、修士論文・博士論文を執筆することが中心です。論文作成の一般的な流れは次の通りです。

多くの場合、研究のテーマは指導教員によって与えられるのではなく、学生自らが見つけ出さなければなりません。そのためには、まず、「どんな問題を解決すれば、我々の『知』が一步前進するのか」を考えます。つまり、まずは「解」ではなく「問い」を発する力を付けなければなりません。「問い」が決まったら、実は「問い」を探る過程において「解」の見当はついていないことが多いです。ただし、それが間違っていないことを、丹念な論証と実証の

積み重ねによって確認します。「解」に辿り着いたら、それを論文にまとめます。論文では、自分の発した「問い」がいかに重要であるか、どのような手順で「解」に辿り着こうとするのか、そして、どのような「解」が導かれるのかを、順序よく説明します。

このようなプロセスを経験することによって、価値ある「問い」を発する力、科学的な方法で「考える力」、論理的に「説明する力」を身につけます。



大学院の開講科目例（2022年度）

分野	基礎科目	専門科目	課題設定型講義・ワークショップ
理論・政策	上級価格理論Ⅰ・Ⅱ 上級所得理論Ⅰ・Ⅱ 上級計量経済Ⅰ・Ⅱ 上級数理経済Ⅰ・Ⅱ 価格理論Ⅰ・Ⅱ 所得理論Ⅰ・Ⅱ エコノメトリクスⅠ・Ⅱ	国際経済 A・B 公共経済 A・B 経済政策 A・B 農業経済 A・B 労働経済 A・B 産業組織 A・B 財政 A・B 金融 A・B	ミクロ・マクロ経済分析：理論と実証 ミクロ実証論文の読み方 日本経済論 財政政策 International Communication（英語）
制度・歴史	上級政治経済学Ⅰ・Ⅱ 上級経済史Ⅰ・Ⅱ 上級経済学史Ⅰ・Ⅱ	現代資本主義 A・B 経済学史 A・B 社会思想史 A・B 日本経済史 A・B 西洋経済史 A・B	
経営・会計	上級経営Ⅰ・Ⅱ 上級会計Ⅰ・Ⅱ マネジメントⅠ・Ⅱ アカウンティングⅠ・Ⅱ	経営労務 A・B ファイナンス A・B 生産管理 A・B マーケティング A・B 経営組織 A・B 経営戦略 A・B 財務会計 A・B 管理会計 A・B 監査 A・B 経営分析 A・B 国際会計 A・B 経営情報 A・B	経済体制と企業経営 Introductory Accounting（英語） 現代経営論 人事管理 危機管理論 知財戦略 企業の海外戦略 金融・ファイナンス 組織論学説研究

※修了のためには、前期課程では演習を含め30単位（15科目）、後期課程では演習を含め20単位（10科目）を履修が標準必要です。

※本研究科では、レギュラーで開講される基礎科目・専門科目以外に、課題設定型講義、課題設定型ワークショップとして、その時々ニーズに合わせた科目や最先端の研究に触れる機会を提供しています。



理論×実践

社会人大学院生として学ぶ

経済学や経営学の面白さは、二十歳前後の実社会を知らない若者には分りにくい部分があります。職に就いて、世の中や組織の仕組みを知ると、経済学や経営学の面白さも分かり、興味が湧いてくるのではないのでしょうか。「もう一度勉強してみたい」「もう少し勉強してみたい」「あのとき聞いた話をもう一度聞きたい」そんな社会人の要請に応えるために、私たちが大学院の社会人リフレッシュコースを立ち上げたのは、1996年のことでした。

しかし、当時は、土日・夜間の授業は少なく、授業内容は旧態依然としており、社会人学生の期待に十分に應えることができていませんでした。私たちは、様々な制約がある中で、長く試行錯誤を繰り返してきました。そして、リフレッシュコースの立ち上げから20年目を迎える2016年、もう一度、社会の要請に応えられる大学院づくりにチャレンジすることにしました。土曜日集中講義と夜間講義、実務経験者を講師に迎えた講義を増やし、必ずしも昼間の講義を受講しなくても修了できるようにしました。また、名古屋大学経済学研究所、名城大

学の経営学研究科と単位互換協定を結び、これらの大学院の授業科目を相互履修できるようにしました。社会人が、実務における問題や経験を持ち寄って集い、実務とアカデミズムとが切磋琢磨し合える、そんな学びの場を提供したいと思っています。

働きながら大学院に通う場合の科目履修例

1年次春学期						
1期 8:45-10:15	2期 10:30-12:00	3期 13:00-14:30	4期 14:45-16:15	5期 16:30-18:00	6期 18:15-19:45	7期 20:00-21:30
月						
火						
水						
木						
金						
土						
1年次秋学期						
1期 8:45-10:15	2期 10:30-12:00	3期 13:00-14:30	4期 14:45-16:15	5期 16:30-18:00	6期 18:15-19:45	7期 20:00-21:30
月						
火						
水						
木						
金						
土						
2年次春学期						
1期 8:45-10:15	2期 10:30-12:00	3期 13:00-14:30	4期 14:45-16:15	5期 16:30-18:00	6期 18:15-19:45	7期 20:00-21:30
月						
火						
水						
木						
金						
土						
2年次秋学期						
1期 8:45-10:15	2期 10:30-12:00	3期 13:00-14:30	4期 14:45-16:15	5期 16:30-18:00	6期 18:15-19:45	7期 20:00-21:30
月						
火						
水						
木						
金						
土						

他分野×経済学

他学部を卒業して経済・経営を学ぶ

経済学・経営学は、法学、数学、工学、政治学、倫理学、心理学、統計学、物理学など、他の学問分野の影響を受けながら発展してきました。最近では、様々な領域融合型の大学院が開設されていますが、経済学・経営学は、まさに文理融合・領域融合の学問であり、その成功事例と言えるでしょう。今では、確立された一つの学問分野であることに誰も疑いを持ちません。

しかし、経済学・経営学を発展させるためには、今後もまだまだ他分野の知識が必要です。他の学部で培った専門的知識は経済学研究科でも活かされることでしょう。

本研究科は、経済学部以外の学部を卒業した人も広く受け入れています。これまでも、理学部、法学部、文学部、工学部などの卒業生を受け入れてきました。また、研究科の教員にも、経済学部以外の学部を卒業した教員がたくさんいます。こうした仲間や教員と日常的に関わることで、専門的知識だけでなく、異分野の人とのコミュニケーションを可能にする、幅広い教養や知識、論理的思考力を自然と身につけることができます。

荒山裕行（名誉教授：農学部卒）	農業経済	安藤隆穂（名誉教授：法学部卒）	社会思想史
鈴木智之（准教授：総合政策学部卒）	人的資源管理	犬塚 篤（教授：工学部卒）	経営組織論
高桑宗右エ門（名誉教授：工学部卒）	経営情報論	鍋島直樹（教授：教育学部卒）	政治経済学
樋野 励（教授：工学部卒）	生産管理論	中島英喜（准教授：工学部卒）	ファイナンス



大学院修了後の進路

大学院修了後は、専門知識を活かした職業に就くことが多いようです。前期課程（修士課程）を修了して就職する場合には、金融機関、監査法人、あるいは官公庁への就職が目立ちます。後期課程（博士課程）を修了して就職する場合には、大学などの研究職に就くことがほとんどです。



ブラザー工業(株)
営業・マーケティング推進部
プロジェクト・マネジャー
小 原 浩一 さん
2019年度社会人コース修了

メーカー勤務30年近い私が大学院を志した理由は、人事担当としての専門性を高めたい、人生百年時代を踏まえて学び直しにチャレンジしたい、の2点でした。

仕事との両立は不安でしたが、経営論や組織論などは実務経験も活き、夜間&土曜講義で必要単位数を満たし、無事2年で卒業できました。それどころか、理論×実践というアカデミズムと実務との切磋琢磨は血沸き肉躍る面があり、熱い議論には仕事の疲れも吹っ飛ぶものが

あります。

恩師のご指導の下、研究テーマは、組織文化論とキャリア論、経験学習理論が融合したものにしました。そしてこうした研究は本業にも大いに役立っています。もちろん何度も書き直した修論作成など、苦労も少なくありませんでしたが、いただいた良質の刺激による視野の広がり、視座の高まり、視点の深まりなどは、私の残り半生を一層充実したものにしてくれるに違いない、もはや感謝しかありません。

■前期課程
アクセンチュア、EY新日本有限責任監査法人、エヌ・ティ・ティ・データ、各務原市議会、クニエ、GZキャピタル、シンメイテクノマイスター、中国建設銀行、中国工商银行、Deloitte、TOKAIホールディングス、トヨタアカウソテイングサービス、楽天グループ、名古屋証券取引所、名古屋大学、日本アイ・ビー・エム、富士通ワイデン・アンド・ケネディ・ジャパン・エル・エル・シー ほか

■後期課程
学校法人中部大学、東海東京証券株式会社、名古屋大学経済学研究科、国際経済政策研究センター、Universitas Hasanudin、立命館大学 ほか

大学院入試情報

博士前期課程一般入試

1. 出願資格
大学を卒業した者及び出願年度の3月31日までに卒業見込みの者
2. 募集人員
○社会経済システム専攻 30名 ○産業経営システム専攻 14名
3. 選抜の方法
(1) 第一次試験（学科試験）
(2) 第二次試験（口述試験）〈第一次試験合格者のみ〉
※英語能力については、TOEFL-iBT / TOEIC / IELTSの成績通知書によって評価します。

出願書類受付期間（一般入試・社会人一般コース共通）

第1次募集 → 8月中旬頃 第2次募集 → 12月下旬頃

博士前期課程社会人一般コース

1. 出願資格
大学を卒業した後、通算して満3年以上の社会経験を有する社会人
2. 募集人員
10名程度
3. 選抜の方法
(1) 第一次試験（学科試験）
(2) 第二次試験（口述試験）〈第一次試験合格者のみ〉

専攻	一般入試	社会人一般コース
社会経済システム専攻	A類は3題、B・C・D類は各2題出題される。受験者は、A～D類より合計2題を選択すること。ただし、自分の申請した専攻に対応する類の中から少なくとも1題は選択すること。	A類は3題、B・C・D類は各2題出題される。受験者は、全体の中から類を問わず2題選択する。
産業経営システム専攻	C類（経営学） D類（会計学）	
	E類（経済・経営事情関係）	

【問い合わせ先】名古屋大学文系教務課（経済G） MAIL. soec-apply@adm.nagoya-u.ac.jp

※2022年度実施の試験についてはコロナ感染症予防の影響により一部内容を変更する場合があります。
詳細は経済学研究科ホームページをご確認ください。

経済学部・経済学研究科同窓会「キタン会」

各界の第一線で活躍する先輩

名古屋大学経済学部・経済学研究科には「キタン（其湛）会」という、名古屋高等商業学校（1920年創立）から受け継がれた同窓会組織があります。その名称は、中国の古典『詩経』『小雅』篇にある「子孫其湛其湛曰楽各奏爾能」（天から幸福を授かり、子孫がその恵みを楽しみ、得意の技能を披露している）という子孫繁栄の祝歌から採ったもので、「母校の発展を願ってきた多くの先輩の志を受け継ぎ、後輩の幸福に寄与する」という意味があります。2万1000人以

上の卒業生のために、北海道、東京、関西をはじめ全国に9の支部を設けています。また、名古屋市職員で組織する「丸八キタン会」や、企業・団体別に同窓会を組織しているところもあります。キタン会は、卒業生の親睦を深めるだけでなく、経済学部や経済学研究科に対して各種の支援事業（留学支援など）を行ってくれています。入学時から、在学中、卒業時まで、みなさんの学生生活を財政面と人的ネットワークの面から支えてくれています。

活 動 内 容

『世代を超えて有意義な時間を共に過ごせる場』です。 繋がりとネットワークをつくろう！

キタン会は年間を通じて、パーティーや交流会を主催しています。

入学時には2・3年生が新入生のために企画するウェルカムパーティーがあります。

新入生の9割以上が参加。先輩とふれあい・新しい友との出会い、楽しいひとときとなっています。6月名大祭・10月ホームカミングデーにはキタン学生交流会を企画し世代を超えての交流を深めています。1月にはニューイヤーパーティーを開催しています。企業のトップや各界で活躍するOB/OGの参加があり、スゴい先輩たちと親しく話し学ぶこともたくさんあり貴重な機会となります。



3月にはフェアウェルパーティーを開催しています。メルマガ・Facebookで『タイムリーな情報』を発信しています。

学業も就職活動も支援します！

ドイツ・フライブルク大学へのサマースクール。ベトナムハノイ貿易大学・シンガポール国立大学との海外研修プロジェクトなど短期留学の助成をしています。

企業研究や就職活動を支援するために企業見学会を開催。TOYOTA・豊田自動織機・大同特殊鋼・麒麟ビール・日本ガイシ・アイシン精機・デンソーなどの工場見学。中部電力・東邦ガスのインフラ施設の見学など。見学後にOBとの懇親会もあります。これらの企業のほか、就活生に人気の企業による「キュリア形成講習」を開催しています。就活以外の学年の参加もあり、企業・業界が自分に適しているか？発見できます。さらに、各企業の先輩や内定者による就活相談会も開催しています。先



輩だから相談できること、OBならでの話を聞くこともできます。



キタン会 会長
鈴木 武

刈谷高から、1970年経済学部卒。
(元)トヨタ自動車・専務
(現)東海国立大学機構・理事

同窓の絆！・交流の場！を大切にしています。

キタン会のロゴマークは同窓生・学生・教員の《三つの和（輪）》があつてこそ、お互いの繁栄が得られるとの「其湛」の精神を著しています。

ネット社会の利便性を利用してオンライン開催の交流もありますが、三つの和（輪）がさらに広がり、世代を超えた交流ができることを願っています。

附属機関・施設

学部生・院生の学びをフォロー

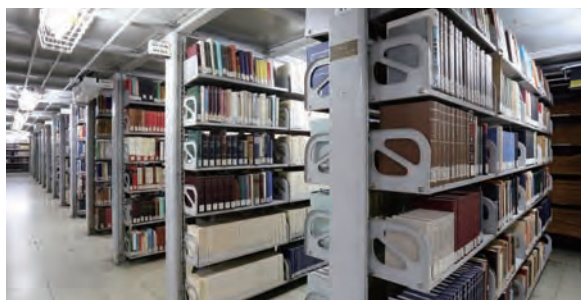
名古屋大学には、中央図書館の他に、各学部の図書室があります。経済学図書室は、その蔵書の質と量、閲覧環境等において、名古屋大学の学部図書室の中でも指折りの図

書室です。また、経済学部・経済学研究科には国際経済政策研究センターがあり、各種の統計データ、産業、企業、労働等に関する資料を入手することができます。

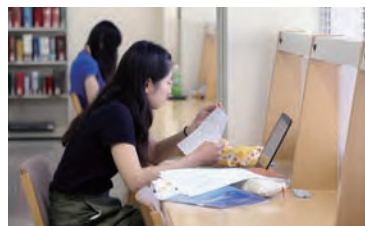
経済学図書室

経済学図書室は、国内外の経済学及び周辺分野の図書、雑誌、電子ジャーナル、最新のデータベース、電子書籍を揃えています。なかでも、EU、OECD、IMF等の国際機関刊行物、アメリカ等外国政府刊行物は蔵書の特色の一つです。特にEUについては、イギリス等がECに加盟した1973年以来、経済学図書室はEU情報センターに指定され、EU公式資料の主たるものはほとんど受け入れています。

また、伝統ある経済学、社会思想の古典類についてもよく収集されており、貴重書室には、1850年以前に刊行された図



書が、革の背をみせて並んでいます。中には、アダム・スミスの『国富論』、マルクスの『資本論』、ケインズの『雇用、



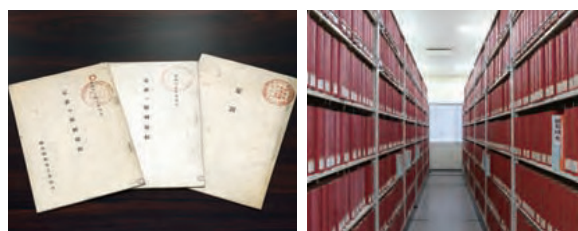
利子および貨幣の一般理論』の初版本等もあります。経済学の礎を築いたり、世界史を動かすものになった名著が、出版時の雰囲気や今に伝えています。この他に、「イギリス革命文庫コレクション」（イギリス革命に関する17世紀から18世紀の原資料およびその研究文献）、小川文庫（イギリス経済学とくに重商主義者、古典学派、リカード派、社会主義派の著作）、徳重文庫（18世紀および19世紀の西欧社会思想）もあります。

さらに、経済学部ゼミ対象の講習会「経済産業情報の探し方」を毎年開催し、学習・研究に必要な文献やデータなどの情報収集方法を紹介しています。カウンターでも利用相談や参考調査を随時受け付けています。

国際経済政策研究センター

国際経済政策研究センターの起源は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校（1920年創立）に設けられた産業調査室です。後に「雁行形態論」で国際的に有名になる赤松要が、実証に基礎づけられた経済の研究をするためには、統計などを体系的に収集する組織が必要であると訴えて、1926年に産業調査室が設置されました。

これを継承した名古屋大学経済学部・経済学研究科は、今日まで、着々とデータを集め続けてきました。100年近くにわたって地道に蓄積された経済統計資料、政府刊行物、企業



体資料の内容は中部地区では抜きでたもので、たとえ大金をつぎ込んでも今からではもう決して作られない貴重な財産となっております。この他、社史の収集や荒木光太郎文庫（元東京帝国大学経済学部教授のコレクション）をはじめ、所蔵コレクションの整理も積極的に行っており、学内外から幅広く利用されております。もっとも、今日では単なる資料収集・整理組織ではありません。1970年代からの度重なる改組によって、研究機関としても着実に発展してきました。研究・教育の両面で経済学研究科と緊密に協力しつつ、広い視点から実証的な調査・研究を行っています。そして、その成果を内外の大学や研究機関をはじめ、広く社会に還元しています。

大学院進学

大学卒業後、さらに深く学ぼうとする人のための教育・研究のための場が大学院です。大学院は、単に研究者になるためだけのものではありません。大学院には2年の前期課程（修士課程）とその後3年の後期課程（博士課程）があり、前期課程を修了した時点で企業などに就職する道も開かれています。

大学院では、講義を通じて教科書の内容を学ぶだけでなく、指導教員の下で、専門書や論文を読み、実地調査やデータの分析を通じて、学問の本質に迫ります。一方的に知識

を教えられるのではなく、指導教員との双方向の対話を通じて「問う力」「考える力」「説明する力」を身につけます。また、大学院には留学生や社会人として大学院に通っている人達がたくさんいます。こうした多様な人達と触れあい、視野を広げられることも大学院の魅力です。

企業に就職する前に、社会を俯瞰的に捉えられるようになりたい、人とは違う新しい発想をしてみたい、自分の意思決定に自信を持てるようになりたい、そう思ったら、大学院進学も良いかもしれません。



経済学研究科
社会経済システム専攻
令和元年度 日本学術振興会
育志賞受賞
D3 刑部 磁音 さん

私が大学院への進学を決めた動機は、「もっと経済学に関して勉強したい、理解を深めたい」という漠然としたものでした。進学してしばらくは、周囲のレベルの高さに圧倒され、また適切な課題設定がなかなかできず、思い悩むことも多くありました。しかし、先生方や先輩方から様々なアドバイスをいただき、同期とお互いの考えを話し合う中で学習を深め、また自分が目指すべきものが見えてくるようになりました。

私は現在、プロスポーツリーグがその魅力を高めるために何を求められ、どのような仕組みを作るべきなのか、ということを経済学的に研究しています。日本では、プロ野球やJリーグが年々観

客動員数を増やす一方で、近年では、卓球などの新たなスポーツや、eスポーツリーグなど、様々なスポーツリーグが誕生しています。それらを一過性のブームで終わらせないためには、所属チームの個々の努力だけではなく、リーグの仕組み自体を適切に設計する必要があります。

私の研究は、社会構造に大きな影響を与えるものではありませんが、そんな研究に対しても教員の方やゼミの仲間は一笑に付すことなく意見を述べてくださいます。もちろん楽しいことばかりではありません。しかし、どんなテーマでも、それを経済学的に追究したいという思いがある方ならば、大学院は有力な進路になりうるでしょう。

卒業生就職等状況一覧表

業 種		2019年度	2020年度	2021年度	
1	農 林 ・ 水 産 業				
2	鉱 業				
3	建 築 業	2	3	3	
4	製 造 業	食 品 ・ た ば こ ・ 飲 料		1	
5		繊維・衣類・その他の繊維			
6		印 刷 等			
7		化学工業・石油・石炭製品	8	5	7
8		鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	5	2	2
9		一 般 機 械 器 具	6	12	5
10		電気・情報通信・機械器具	12	10	10
11		電 子 部 品 ・ テ バ イ ス	1		
12	輸 送 用 機 械 器 具	21	16	7	
13	精 密 機 械 器 具				
14	そ の 他	8	6	3	
15	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	6	6	11	
16	情 報 通 信 業	29	28	37	
17	運 輸 業	7	7	5	
18	卸 売 業	5	6	7	

業 種		2019年度	2020年度	2021年度
19	小 売 業	3	4	4
20	金 融 業	24	24	44
21	保 険 業	4	7	10
22	不 動 産 業	3	2	6
23	飲 食 店 ・ 宿 泊 業			
24	医 療 ・ 福 祉	2	1	
25	教 育 ・ 学 習 支 援 業	2		3
26	複 合 サ ー ビ ス 事 業	1	1	1
27	サ ー ビ ス 業	8	28	4
28	国 家 公 務	6	7	2
29	地 方 公 務	10	13	14
30	そ の 他	29	4	29
小 計		202	192	215
31	大 学 院 進 学	6	6	9
32	そ の 他	8	27	17
計		216	225	241



卒業後の進路

就職率だけでなく、それぞれの適性にあった就職を支援

本学部では、毎年、ほぼ100%の学生が希望通りに就職しており、各種調査による、経済・経営・商学系の就職率ランキングでは、全国1位になっています。就職先は、製造業、サービス業、公務員まで多岐にわたります。また、毎年15～20名ほどの学生が公認会計士の資格取得を目指しています。

本学部では、同窓会であるキタン会と連携して、単に有

名企業や人気企業への就職を目指すのではなく、学生ができるだけ幅広い業種に目を向けて、適性にあった就職先を見つけるための支援をしています。例えばキャリアデザインについて考える「大学生のための職業論」を開講したり、東証一部上場企業を中心とした60社以上の企業による「キャリア形成講習」の開催、年齢の比較的近いOBと懇談できる企業見学会を開催するなどしています。



2020年度卒業
サントリーホールディングス株式会社
安藤 亜美さん

名古屋大学経済学部は「学びたい」「成長したい」という気持ちを多角的にサポートしてくれる環境が整っています。日々の充実した講義はもちろん、就職活動の際にはキャリアサポート室で就職活動の相談やインターンシップの対策からエントリーシートの添削まで手厚いサポートを受けられます。公認会計士や教員を目指す学生向けの専門的な講座も用意されており、学生一人一人の目指す道を全力で支援してもらえます。

経済学部で物事をあらゆる視点で捉え考える力が養われたことで、私の将来の視野や選択肢も広がったと感じています。私は就職活動時、2つの軸を大切にしていました。1つ目は世の中に大き

な影響を与えられる仕事かどうか、2つ目は仕事をする上でワクワクし続けられるかどうかです。4年間の講義のなかで卒業生が講話を開いてくださる機会が何度かあったのですが、皆さんが目を見せながら将来のビジョンをお話されていた姿を今でも鮮明に覚えています。そのように充実した社会人生活を送られている先輩方をみて、いつしかその姿が私の理想の社会人像になっていました。

私たちの大学生活を全力で支援し、夢や目標に向かって背中を押してくれる名古屋大学で4年間のキャンパスライフを描いてみてはいかがでしょうか。



2019年度卒業
三菱UFJ銀行
塩谷 健太さん

電車の中で、とある予備校のこんな広告が目止まりました。「人生は大学では決まらない。そう思う。でも。行きたい大学を目指す日々は、その努力は、人生を変える。と思う。」

就職活動も同じことなのかもしれません。どの企業に行こうとも、そこで何を成すのかが大事であり、その企業に入るだけではそれこそ人生は決まりません。しかし、自分の第一志望の会社に対して、できうる限りの研究・対策を行い、持てる力の全てをアピールして内定を得る。そうした過程には十二分の価値があるのではないのでしょうか。

名古屋大学経済学部にはその過程を支えるに足る環境、そして実際に支えてきたという圧倒的実

績があります。それは就職活動の時期だけに限りません。カリキュラムのなかに様々な企業の方のお話を聞ける機会が組み込まれており、早い時期から「働く」ということを考える手助けをしてくれます。就活期には説明会やセミナーが充実し、OB・OGとのコネクションが非常に強いのも、名大の特徴です。

4年間のほとんどを部活動に費やしたにもかかわらず内定をいただけたのは、学部の手厚いサポートがあったからだと確信しています。ぜひこの環境で自分だけのキャンパスライフ、更には人生のキャリアの第一歩を描いてみてはいかがでしょうか。

主な就職先（2022年3月卒業）

あいおいニッセイ同和損害保険、愛知県庁、アサヒ飲料、アシスト、アビームシステムズ、イオン銀行、石川県庁、一宮市役所、井上特殊鋼、AAS、SMBC信託銀行、エスツーアイ、エステー、エヌ・ティ・ティ・データ、NTTドコモ、NTT都市開発、エスネットワークス、ENEOS、エン・ジャパン、大垣共立銀行、オービック、オープンハウス、鹿島建設、岐阜県信用農業協同組合連合会、京セラ、興和、九州電力、グッドマン、サイバーエージェント、三交不動産、塩浜工業、静岡銀行、SHIFT、シャープ、十六銀行、スズキ、住友生命保険相互、住友電気工業株式会社、セキュア、中部電力パワーグリッド、電源開発、東海財務局、東海理化電機製作所、東海旅客鉄道株式会社（JR東海）、東京海上日動火災保険株式会社、東京スター銀行、東陽倉庫、栃木県庁、豊田合成株式会社、トヨタファイナンシャルサービス、トヨタシステムズ、トヨタ自動車、トヨタ紡織、名古屋市役所、西日本シティ銀行、野村證券、日本ガイシ、日本製鉄グループ、日本電気株式会社（NEC）、日本土地建物、日本放送協会（NHK）、日本政策金融公庫、日立ソリューションズ、日立製作所、富士通株式会社、ブラザー工業、フロンティア・マネジメント、パローホールディングス、ブリヂストン、ブレイン・ゲート、物件王、ペイカレント・コンサルティング、丸三証券、三浦工業、ミッドランド経営、三井化学、三井住友カード、三井住友信託銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ証券、三菱電機、三菱監査法人、明治安田生命保険相互会社、ヤマザキマザック、大和証券グループ本社、ヤマハ発動機、ユニー、有限責任監査法人トーマツ、横浜ゴム、楽天グループ、楽天証券、りそなグループ、リブ・コンサルティング ほか



学部・修士5年一貫教育プログラムで学ぶ

+ 1年で取得するプロフェッショナルへのパスポート

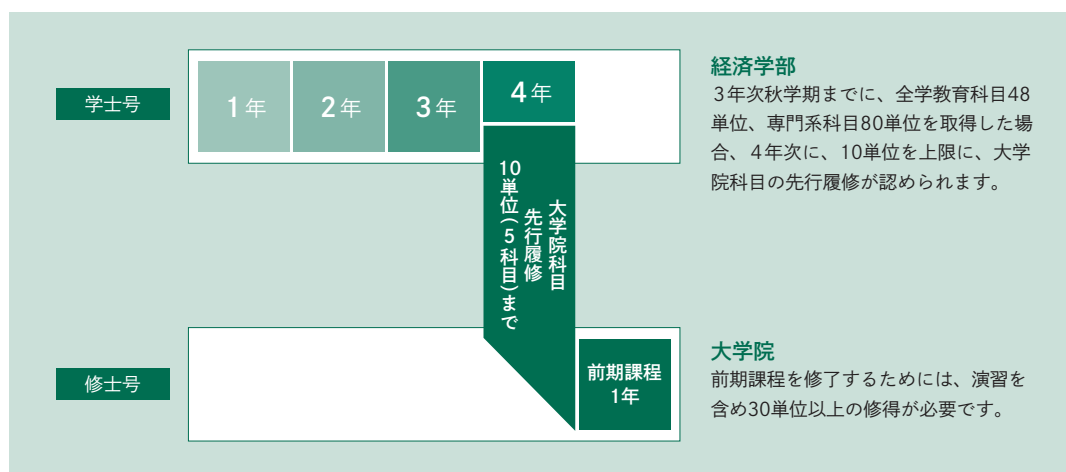
経済学部の4年の課程を修了すると、みなさんには、「学士」という学位が授与されます。その後、大学院で2年の課程（前期課程）を修了すると「修士」、さらにその後3年の課程（後期課程）を修了すると「博士」の学位が授与されます。修士は「マスター」、博士は「ドクター」ともよばれます。修士号を取得するということは、先端的な研究についてもよく理解して、学術的な調査や分析の方法を修得しているということです。

日本の、特に文系の学部では、修士・博士という学位を取得することは、あまり重要視されていないようです。しかし、

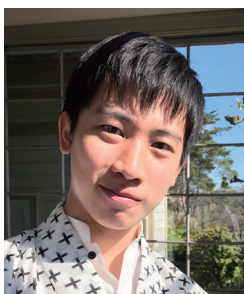
日本でも、理系の学部では修士の学位を持つことは普通になっています。また、海外では、どこかの大学を卒業したかに加えて、学士・修士・博士という学位の違いが意識されることも多いようです。将来、グローバルな企業で働こうと思っている人は、修士号を取得しておいても損をすることはないでしょう。

名古屋大学の経済学部には、学部4年+修士2年の計6年の課程を5年（学部4年+修士1年）で短縮修了できるプログラムがあります。3年次に一定の成績基準を満たしている学生はこのプログラムに挑戦することができます。

■ 学部・修士5年一貫教育プログラムの仕組み



わたしが大学院で学ぶ理由



経済学部 経営学科
4年 西田 鴻志 さん

私が大学院へ進学したいと考えたきっかけは、学部ゼミでの研究発表でした。それまで学部の講義には真面目に取り組んできたものの、いざ研究を始めようとなると、なかなか満足いく研究をすることができず、経済学の知識の不足を痛感しました。そこで更に専門性を磨きたいと強く思い、5年一貫教育プログラムを利用することにしました。

大学院の講義では発展的な内容を扱います。また、学術論文を読むには高度な専門知識に加え英語力が必要不可欠です。そのため、十分に理解す

るには相当の時間を要しますし、学生が独力で研究をするのはなかなか難しいと思います。名古屋大学には図書館を中心とした豊富なリソースがあり、優秀な先生方や大学院の先輩方から懇切丁寧なアドバイスを頂けます。私は、本プログラムのおかげで、先生方のご指導の下で大学の充実した設備を有効活用して学問に邁進することができています。経済学をより深く学びたい・研究したいという方は、5年一貫教育プログラムを活用してみたいかがでしょうか。



海外派遣プログラムで学ぶ

大学全体のプログラムに加え、経済学部独自の海外派遣プログラムも充実

名古屋大学経済学部では、グローバル人材の育成を目指して、複数の国際交流プログラムを提供しています。例えば、ドイツ・フライブルク大学への夏期派遣プログラム、ベトナム貿易大学への派遣プログラム、シンガポール国立大学への派遣プログラムなどがあります。1学年205名の入学定員に対して約40名分の枠が用意されているため、5人に1人はこれらのプログラムを利用して海外経験をすることになります。また、これらの派遣プログラムでは、政府や企業、大学や同窓会（キタン会）から資金的な支援を頂いて、学生の渡航費用を補助しています。

学生の派遣だけではなく、ベトナムやシンガポールなど

の海外協定大学の学生の受け入れも行っています。日本にきた学生は、学内で講義を受講するだけでなく、名古屋大学の学生と一緒に工場見学やグループワークに参加しています。名古屋大学の学生は、日本に居ながらにして、あるいは、自分が海外派遣プログラムに参加する前に、国内で海外の優秀な学生と触れあい、一緒に学ぶことができます。

さらに、名古屋大学全体としても、世界に100以上の協定大学をもち、数多くの海外派遣プログラムを提供していますので、学生は自分の語学レベルや目的に合ったプログラムを選択することができます。経済学部の派遣プログラムを経験した学生の多くが、その後、交換留学しています。



●ベトナム貿易大学への派遣

時期：11月頃／日数：2週間／人数：20名程度／内容：日本企業の訪問・研究報告



●シンガポール国立大学への派遣

時期：2月頃／日数：10日間／人数：10名程度／内容：日本企業の訪問・現地学生とのディスカッション



●フライブルク大学への派遣

時期：9月頃／日数：4週間／人数：10名程度／内容：語学研修・フィールドワーク



経済学部 経済学科
4年 小島 未莉 さん

私は経済学部内の留学プログラムで、1年生と2年生の7月に名古屋大学での受入プログラムに参加し、1年生の春休みには2週間の派遣プログラムでシンガポール国立大学に行きました。シンガポールの学生たちは、積極的に作業にスピード感があるので圧倒され、自分の実力のなさを感じました。私はその中で、みんなの意見を聞いてまとめたり、勇気を出して自分の意見を言ったりするなど、自分にできることを見つけようと思いました。プログラム以外の時間では、お互いの趣味や好きなこと、そして将来の夢について話をして仲良くなりました。

2年生の夏には、ドイツ、フライブルク大学の

研修にも参加しました。午前中は、サマースクールの語学プログラムに参加し、午後の自由時間には、個人研究のフィールドワークを進めました。世界中から集まる多様なバックグラウンドを持つ学生との交流を通して、今までにない価値観や考えに出会い、自分の考えの狭さを感じました。そして、多くの異なる考え方の中で押しつぶされずに活躍できる人材になりたいと思いました。

現在は長期の交換留学中です。経済学部が提供する研修は、渡航前後の支援が充実しています。恐れずに今後も挑戦していきたいと思っています。

シンガポール国立大学の学生コメント

名古屋大学の近郊にある自動車工場の見学をすることができ、「Kaizen」や「Kanban」方式を見ることができました。その後、名古屋大学の学生と一緒に工場の管理や生産方式について議論することができたのは非常に有意義でした。また、シンガポールでの市場のシェアが50%を超えている飲料メーカーが名古屋発祥であることを知り、驚きました。工場見学を行い、そこでマーケティング戦略についての説明を聞きました。同じ商品を世界中

で提供するのではなく、「正しい商品を求められる市場へ」という考え方はとても興味深く、市場戦略の新しい学びとなりました。これらの工場見学に行ったとき、日本語の説明文や企業側の解説を名古屋大学の学生がわかりやすく英語に翻訳してくれて、関連する戦略や課題について議論することができたのは、とても価値のある経験でした。



プロフェッショナルを目指す

大学での学びをキャリアにつなげる

経済学部では、資格試験の教育で実績がある学校法人名古屋大原学園と会計専門職育成に関する業務提携を結び、公認会計士試験の受験対策講座を開講しています。(受講には別途受講料が必要です。)

公認会計士の魅力

公認会計士は会計のプロフェッショナルです。主な仕事は、企業が作成する財務諸表(決算書)に虚偽がないかをチェックする「監査」ですが、その他にも起業の支援やコンサルティングなど、活躍の領域は多岐にわたります。

また、公認会計士資格を持っていることは、一般企業への就職でも有利です。国家資格を武器にすることで、特定の会社依存せず自由に仕事を選べます。

世界的な人気企業で働く

右上の表は、世界の人気企業のランキングです。Google, Apple, Microsoftなどと並んでランクインしているのが監査法人です。公認会計士は、多くの場合、これらの監査法人で働くことになります。国内の人気企業だけではなく、世界的な人気企業を目指してみてもいいでしょう。

BUSINESS		
	Employer	2018
3位	Google	1
	Goldman Sachs	2
4位	EY(Ernst & Young)	3
	Deloitte	4
5位	KPMG	5
	PwC (PricewaterhouseCoopers)	6
6位	Apple	7
	J. P. Morgan	8
	McKinsey & Company	9
	Microsoft	10

(出所) Universum World's Most Attractive Employers | 2018

講座の特徴

公認会計士講座の授業は、大学の授業期間中は大学の校舎内で受講することができるので、移動に時間を使わずに済みます。また、大学の時間割や定期試験の日程に合わせた、受講しやすいカリキュラムになっています。

また、専用の教室が用意されていて、授業のないときは、自習室として自由に使うことができます。この部屋で仲間ができて、一緒に勉強を頑張ることができます。

大学授業と被らないよう、平日・土曜に授業を実施		春休みは大原で集中授業		短答対策の問題演習					
2022年4月		11月	2023年2月	4月	8月	12月	2024年5月	8月	11月
簿記3級・2級の内容を学習※1	大学で授業	大原で授業	大学と大原で授業※2	大原で演習※2と授業	大原で演習※2と授業※3	大原で演習	就職活動		
日商簿記検定2級を受験				短答式試験		短答式試験	論文式試験	論文式試験合格発表	

※1…名古屋大学の授業科目の内、簿記3級は『会計Ⅰ』を、簿記級は『会計Ⅱ』・『財務諸表Ⅰ』を履修することで学習が可能です。
簿記3級・2級を学習していない方は、事前にご相談ください。(学習開始時期が異なってくる場合があります。)

※2…ST演習と呼ばれる1時間の財務・管理の問題演習があります。

※3…短答式の試験科目ではない選択科目・租税法の授業があります。



萩原 日奈 さん

現役一発合格

2019年	名古屋大学経済学部入学
同年秋	公認会計士講座開始
2021年秋	大学3年次に公認会計士試験合格、PwCあらた有限責任監査法人にて学生非常勤として勤務開始

講座の思い出は…

合格のためにはかなりの勉強が必要ですが、名大勉強会には自分同様大学と会計士講座の両立というハードスケジュールをこなす(大変さを共感してくれる)仲間がいたので心強かったです。経済学部棟の会計士講座専用自習室で期末試験前に教え合ったり、大原の授業の合間に会計士試験の選択科目を相談したりしたのは良い思い出です。勉強会の仲間達とは今でも親しく、時々オンライン食事会もしています。

会計士ならではの体験談

先日、職場の先輩とお客さまのところに行った際、私も「先生」と呼ばれ、一人のプロフェッショナルと見られているのを感じうれしかったです。緊張しましたが、勉強で得た知識を活かして監査を行い、お客さまに的確なアドバイスができました。重要な資料の確認や、経営者の方と接したことは良い経験になりました。これからのいろいろな会社をみて経験値を上げていけるのが楽しみです。

講座を検討している人へのアドバイス

会計が好きで、就職に強い資格が欲しい人、将来の活躍の幅を広げたい人等、様々な人が活用できる講座だと思います。勉強は大変ですが、自分の目標に向かって頑張ってください。



ゼミナールで学ぶ

徹底した少人数制による専門研究と人格的交流の場

経済学部のカリキュラムにおいて、ゼミナールは重要な役割を果たしています。ゼミは必修で、教員と原則8名までの学生によって構成されます。ここで専門分野の研究を集中的に行います。

まず2年次秋学期に、各教員によるゼミのテーマの発表、先輩達によるゼミ紹介などを参考にしてゼミを選択し、書類審査や面接を経て、所属ゼミが決定されます。そして、3年次からゼミが始まります。各ゼミの活動内容は多種多様ですが、一般的には、数冊のテキストを読み、報告・討論する形で運営されます。工場見学や企業調査を行ったりするゼミもあります。また、夏休みには、レポートが課さ

れたり、ゼミ合宿を行ったりすることもあります。インターゼミナール（他大学との研究発表会）に参加するゼミもあります。4年次には、卒業論文の作成が重要な課題となります。研究テーマを絞り込み、より専門的な文献を読んだり、詳細なデータ分析をしたりします。そして1月中旬に、4年間の勉学の集大成として、卒業論文を提出します。

この他にも、ゼミ旅行やコンパ等、ゼミ単位の行事がたくさんあります。このように、ゼミは単に専門知識を学ぶだけの場ではなく、教員や学生同士の人格的交流の場でもあります。ゼミ活動にどのように関わるかで、経済学部の生活は大きく変わるといいでしょう。



玉井ゼミナール

玉井ゼミでは、市場経済において公共部門が果たすべき役割について研究しています。3年生の春学期では、公共経済学の標準的なテキストを用いて公共政策の効果や分析手法の基礎について学びます。続く秋学期では、グループごとに個別のテーマを設定し研究を進め、学期末の研究発表会で報告をします。さらに、4年生では、これまでの学習内容を基礎として、卒業論文の完成をさせるとともに、卒業研究の内容を3・4年生の合同ゼミとなる卒業研究報告会で発表します。

玉井ゼミは、公共経済学の領域における社会課題についてミクロ経済の観点から学びを深めていくゼミです。3年生では、私たち自身で選んだ教科書を輪読し、ゼミ生同士で議論をしながら公共経済学の基礎部分の理解を深めることができました。そして4年生では、自分で決めたテーマに沿って研究を進めていくフェーズに入っています。私は、ゼミで「公共経済学」という学問を通して身近な政策や社会課題について考えることで、社会に対する

新たな俯瞰的視点や考え方を体得することができ、非常に面白味とやりがいを感じています。教授は私たちを真摯にサポートしてくれるため、自分の取り組みたい卒論のテーマに安心して挑戦することができます。今後もゼミ生と仲良く、そして協力しながらゼミ活動に積極的に取り組んでいきたいです。

4年 早川 莉緒さん



山口ゼミナール

マーケティングを考える上では、消費者を科学的に理解することが重要です。そのための理論や手法を修得し、新たな消費社会を創造する基礎力の構築をゼミの目標としています。3年春学期は、消費者行動論の標準的なテキストを下敷きに、特定のテーマについてゼミ生全員参加のディスカッションを通じて、論理的な思考力および表現力を養います。3年秋学期は、ビジネスデータの解析を通して、数理的に消費者の心理や行動を理解・モデル化する方法を学びます。4年次には各自が設定した研究テーマについて、3年次までに学んだ知識や手法を用いて卒業論文を執筆します。その他ゼミ活動の運営では、懇親会から研究発表会に至るまで、学生の主体性が尊重されます。

山口ゼミでは3年後期に、前期で学んだマーケティングの基礎知識を応用する場として、外部のコンペティションに参加します。昨年度は、データ解析コンペティションにチームを組んで出場しました。データの基礎解析からビジネスの現状や課題を洗い出し、商品・サービス改善のアイデアに繋げていきました。この活動を通じて、マーケティングという学問だからこそその実用性が求められる難しさや、言語学や心理学など様々な観点から物事を考察す

る面白さを体感しました。

ゼミでは、「なぜ今自分が取り組むテーマが社会に役立つのか？」など、学問と社会とのつながりも学んでいます。「学問に取り組む」という行為は、机の上や授業・ゼミ活動といった大学内に留まらないのだという長期的な目線を持てたことは、このゼミで得られた大きな収穫の1つだと感じます。

4年 山田 紀梨子さん



経済と経営を複眼的に学ぶカリキュラム

名古屋大学経済学部のカリキュラムの特徴は、経済理論・経済政策、制度経済学・経済史、経営学・会計学という幅広い分野を網羅していることです。経済学部は経済学科と経営学科とに別れていますが、どちらに所属しても、これらの分野を一通り勉強することになります。これによって、

社会や市場全体を見渡す「経済学的視点」と、個別企業の立場から考える「経営学的視点」を同時に持つ複眼的な人材を育成します。また、歴史を通じて多様な経済体制について学ぶことで、現代社会を様々な切り口で分析できる人材を育成します。

経済学科 個人や企業の自由で合理的な意思決定に基づく社会全体の調和と発展について考えます。

経営学科 集団に調和と秩序を持たせる方法、合理的な意思決定の方法について考えます。

分野	分野の特徴	1年	2年春学期	2年秋学期～4年
理論・政策	「経済学」と聞いて最初に思い浮かべる主流派の経済学（近代経済学）を学びます。数理的な理論分析と統計的な実証分析を通じて、財政、労働、金融、農業、教育、医療などの社会問題を考える方法を学びます。「経済学を学んだ」と言うためには、欠かすことのできない分野です。	統計解析 経済数学A 経済数学B マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅰ 計量経済Ⅰ	マクロ経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅱ 計量経済Ⅱ	国際経済 公共経済 経済政策 財政 金融 経済発展 労働経済 産業組織 農業経済
制度・歴史	経済学は大がかりな実験ができません。そこで、各国の多様な制度や歴史を手掛かりにして、政治・文化・社会など、多様な側面を考慮しながら、資本主義経済の仕組みを理解しようとする分野です。主流派の経済学を絶対視せず、批判的な目を持って理解するためにも欠かせない分野です。	政治経済学Ⅰ 一般経済史Ⅰ	政治経済学Ⅱ 一般経済史Ⅱ	経済学史 現代資本主義 日本経済史 西洋経済史 社会思想史
経営・会計	経済理論は、人や企業が合理的に行動すること、情報が完全に行き渡っていること、市場への参入・退出が自由であることを仮定しています。これを、立場を変えて、どうすれば合理的に行動できるか、どうやって情報を収集・処理するべきか、いつ、どうやって市場に参入・退出するべきかを考えます。3分野の中ではもっとも実践性を重視する分野です。	会計Ⅰ 会計Ⅱ 経営Ⅰ 財務諸表Ⅰ	経営Ⅱ 財務諸表Ⅱ	財務会計 管理会計 経営組織 ファイナンス 生産管理 情報処理 国際会計 経営分析 経営労務 マーケティング 経営戦略 監査 経営情報



幅広い教養・知識
理論的思考力

専門的知識

T字型人材の育成

どのような経済活動も、多くの人々の協働と多様な知識の結集によって成り立っています。製品を作って売するという単純な行為でさえ、何を作るのか、どうやって作るのか、作るのに必要な労働力、資材、資金の調達はどうするのかなど、それぞれに専門的な知識や技術、それらを担う人々の協力が不可欠です。そして、このために必要な知識は、人文科学や自然科学の領域にまで広がっており、そのすべてを一人で勉強してマスターすることは現実的ではありません。そこで、経済学部卒業生には自分自身の専門分野を磨くとともに、幅広い分野の人との協働を可能にする学識が求められます。ここでいう学識とは、コミュニケーションの基礎となるような幅広い教養や知識、および論理的思考力のことです。このような学識と専門的知識を兼ね備えた人のことをT字型人材と呼ぶことがあります。Tの横棒が異分野の人との連携を可能にする学識、縦棒の部分が深く掘り下げた自分の専門的知識の部分です。

名古屋大学経済学部は、前身である旧制名古屋高等商業学校（1920年創立）以来100年に至る伝統の中で、まさにT字型人材を育成してきたといえます。専門（Tの縦棒）を徹底的に鍛える3、4年次のゼミと卒論研究は、一人の教員が指導する学生を原則8名までとする徹底した少人数教育を厳格に実践しています。また、幅広い学識（Tの横棒）を獲得するために、1、2年次に行われる全学教育（一般教養）だけでなく、専門科目群の中に理論的アプローチ、歴史的アプローチ、事例研究、実地調査など多種多様な科目を用意しています。かつての旧制名古屋高等商業学校が、「単なる商業経済の専門学校でなく総合大学としての偉容を有する」と賞賛された、そのDNAを今に引き継ぎ、有為なT字型人材を自然に育むカリキュラムを展開しています。

経済学へのアプローチ

名古屋大学経済学部案内 2023



APPROACH
SCHOOL OF ECONOMICS